

# 地場企業の経営動向調査

(平成24年度第3・四半期)

平成25年3月7日

 福岡商工会議所

総合企画本部 企画広報グループ

TEL 092-441-1112

## 調査目的

福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。

## 調査対象

当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出したもので、対象企業の内訳は中小企業 1,388社（構成比率92.5%）、大企業112社（構成比率7.5%）により構成されている。

回答した企業数は622社、回答率41.5%となっており、回答企業の内訳は、中小企業 574社（構成比率92.3%）、大企業48社（構成比率7.7%）となっている。

※ 中小企業の範囲は中小企業基本法の定義に基づく。

## 調査要領

四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成24年10～12月期の実績、及び平成25年1～3月期の予想について、平成24年12末時点で調査した。

## 調査内容

※DI値を集計（DI=「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

DI …… Diffusion Index（景気動向指数）の略

### 《 景気・経営動向調査 》

1. 自社・業界の景況
2. 生産額、売上額、完成工事高
3. 原材料・製（商）品仕入価格
4. 受注価格、販売価格
5. 製（商）品在庫
6. 営業利益
7. 売掛期間
8. 資金繰り
9. 100万円以上の新規借入

平成24年度 第3・四半期

調査対象企業数及び回収結果

規模別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	622		
中小企業	1,388	574	41.4%	92.3%
大企業	112	48	42.9%	7.7%

業種別	対象数	回答数	回答率	回答結果の構成比
全業種	1,500	622	41.5%	
建設業	233	110	47.2%	17.7%
土木建設業	82	41	50.0%	6.6%
建設付帯工事業	73	29	39.7%	4.7%
電気・管工事業	78	40	51.3%	6.4%
製造業	183	83	45.4%	13.3%
食料品製造業	36	18	50.0%	2.9%
繊維製品製造業	12	4	33.3%	0.6%
建材・木・紙製品製造業	15	5	33.3%	0.8%
印刷・製本業	29	13	44.8%	2.1%
窯業・土石製品製造業	10	4	40.0%	0.6%
金属製品製造業	18	11	61.1%	1.8%
一般機械器具製造業	23	13	56.5%	2.1%
電気機械器具製造業	15	7	46.7%	1.1%
その他製造業	25	8	32.0%	1.3%
卸売業	224	94	42.0%	15.1%
食料品卸売業	44	16	36.4%	2.6%
繊維製品卸売業	22	11	50.0%	1.8%
建材・住宅機器卸売業	28	12	42.9%	1.9%
紙・文具卸売業	10	5	50.0%	0.8%
金属・鋼材卸売業	10	3	30.0%	0.5%
一般機械器具卸売業	35	12	34.3%	1.9%
石油・化学製品卸売業	15	6	40.0%	1.0%
その他卸売業	60	29	48.3%	4.7%
小売業	222	73	32.9%	11.7%
食料品小売業	53	18	34.0%	2.9%
衣料品・身の回り品卸売業	34	11	32.4%	1.8%
石油・化学製品小売業	5	1	20.0%	0.2%
車両運搬具小売業	16	3	18.8%	0.5%
家電・厨房器具小売業	15	5	33.3%	0.8%
百貨店・セルフ店	10	4	40.0%	0.6%
その他小売業	89	31	34.8%	5.0%
運輸・倉庫業	70	31	44.3%	5.0%
旅客運送業	20	11	55.0%	1.8%
貨物運送・倉庫業	50	20	40.0%	3.2%
サービス業	568	231	40.7%	37.1%
情報処理サービス業	70	37	52.9%	5.9%
その他事務所サービス業	331	138	41.7%	22.2%
ホテル・旅館・飲食業	111	32	28.8%	5.1%
その他の個人サービス業	56	24	42.9%	3.9%

## 調査結果のポイント

### 【 業況について 】

- 今期（平成 24 年 10～12 月）の全業種合計の自社業況 DI は▲12.2 で、前期から+3.0 ポイントと 2 期ぶりの改善となった。DI 値は、（平成 3 年度第 2 四半期以来）86 期連続でマイナス値。
- 規模別にみると調査対象の 9 割以上を占める中小企業は▲11.7（前期 DI 値▲15.4）と 2 期ぶりに改善した一方、大企業では▲18.7（同▲12.5）と 2 期連続の悪化となり、規模間で差が見られた。
- 業種別では、建設業（▲21.2→0.9）、運輸・倉庫業（▲9.6→3.3）、製造業（▲19.8→▲14.4）、サービス業（▲7.7→▲7.0）では改善となった。建設業がマイナス値でなくなったのは平成 17 年第 3 四半期に 0.0 となって以来、28 期ぶり。一方、小売業（▲10.7→▲26.1）、卸売業（▲27.1→▲33.0）の 2 業種は大幅な悪化となった。
- 改善幅の大きかった建設業（▲21.2→0.9）からは、「建売分譲住宅の販売が好調」など消費税増税を前にした駆け込み需要の影響をあげるコメントが多く寄せられた。一方、悪化幅の大きかった小売業からは、「全体的に消費が低迷しているうえ価格競争が激しく、業況は厳しい」と言ったコメントが多く寄せられた。
- 次四半期（平成 25 年 1～3 月）の予測 DI 値は▲11.5（今期比+0.7 ポイント）と、ほぼ横ばいの見込となっている。中小企業からは、「電気料金が値上げされれば、コスト上昇分を価格転嫁できないため、収益圧迫要因となる」と言った電気料金値上げに関する懸念の声や「公共事業の増加が地方経済の活性化に繋がる」といった期待の声も多く聞かれた。

### 【 項目別の動向について 】

- 項目別では、「資金繰り DI」（▲18.4→▲14.3）、「生産額、売上額、完成工事高 DI」（▲13.0→▲9.4）、「売掛期間 DI」（▲8.3→▲5.6）、「営業利益 DI」（▲25.4→▲23.0）、「製（商）品在庫 DI」（▲7.2→▲6.3）、「受注価格、販売価格 DI」（▲25.2→▲24.5）、「原材料・製（商）品仕入価格 DI」（12.3→12.4）とすべての項目で改善となった。
- 100 万円以上の新規借入については 2 期連続の増加となっているが、次四半期は減少の見込み。新規の借入に慎重な姿勢が現れている。
- 売上増加の理由は、「受注、需要の増加」64.9%、「得意先開拓・客数の増加」46.6%と集中している。一方で減少した理由としては、「受注、需要の減少」が 67.2%と突出して高く、以下、「客単価の低下」34.4%、「得意先開拓・客数の減少」33.3%、「出荷・販売価格の下落」22.8%の順となっている。
- 当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」55.8%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」52.6%、「営業利益の低下」39.9%の 3 項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ 3 項目に集中している。他に指摘が集中した項目として、小売業では「同業者、類似店、大型店の進出」が全業種の 12.7%に対して 32.9%、建設業では「官公需要の停滞」が全業種の 16.6%に対して 37.3%、製造業では「販売価格への転嫁難」が全業種の 17.2%に対して 30.1%、運輸・倉庫業では「人材難、求人難、定着性の悪化」が全業種で 21.9%に対して 45.2%と高くなっているのが特徴。

# 1. 自社・業界の景況

《2期ぶりの改善、次期予測はほぼ横ばい》

今四半期（H24年10～12月）の地場企業の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合は25.9%（前期比+1.4ポイント）、「悪くなった」と回答した企業割合は38.1%（前期比+1.6ポイント）、「横ばい」と回答した企業割合は35.9%（前期比+0.5ポイント）となった。DI値は▲12.2（前期DI値▲15.2）となり、前期比で+3.0ポイントの改善となった。

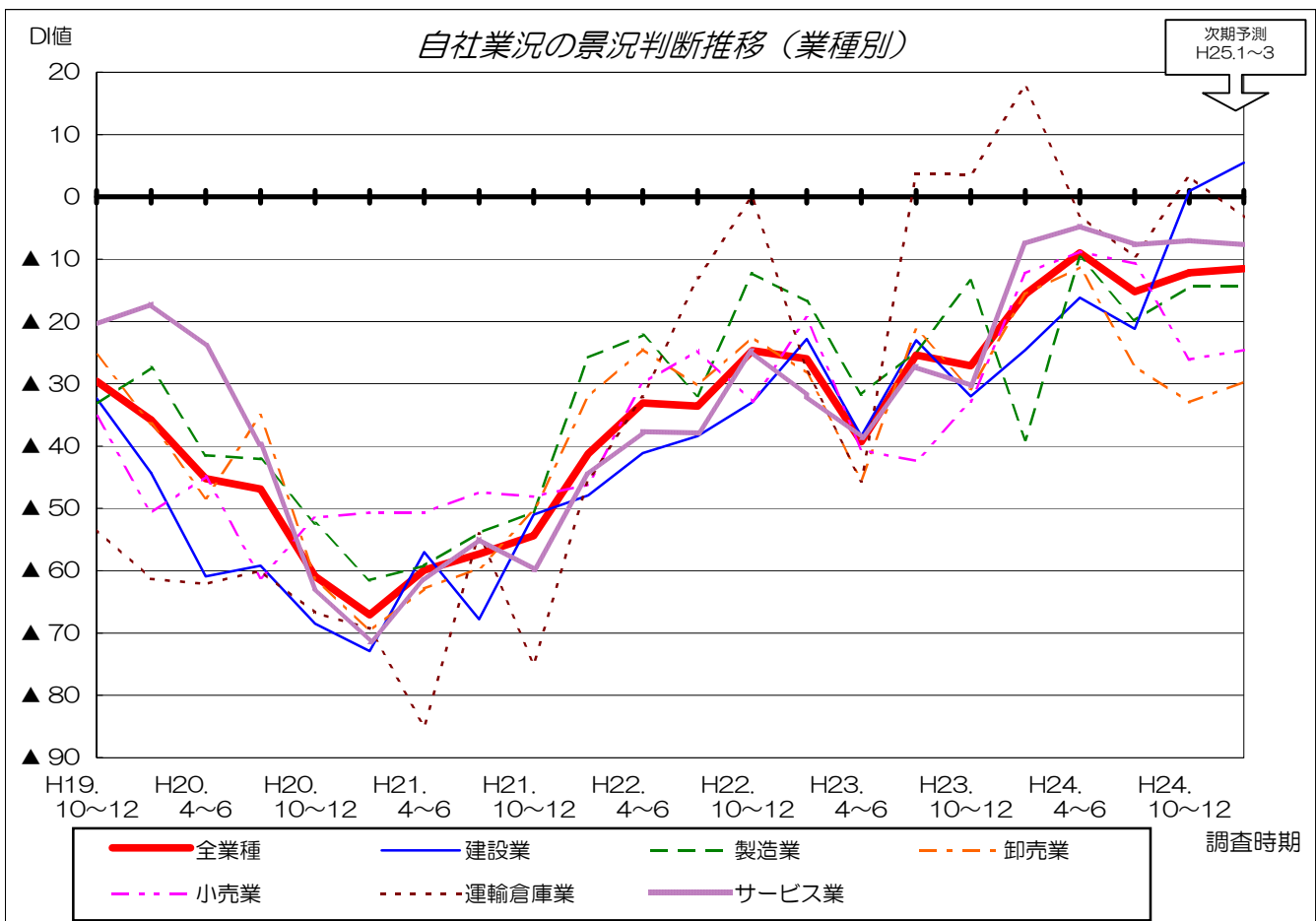
業種別に対前期比でDI値を見ると、今回の調査で建設業が+22.1ポイント（前期DI値▲21.2）、運輸・倉庫業+12.9ポイント（同▲9.6）、製造業+5.4ポイント（同▲19.8）、サービス業+0.7ポイント（同▲7.7）と改善したものの、小売業-15.4ポイント（同▲10.7）、卸売業-5.9ポイント（同▲27.1）の悪化となった。

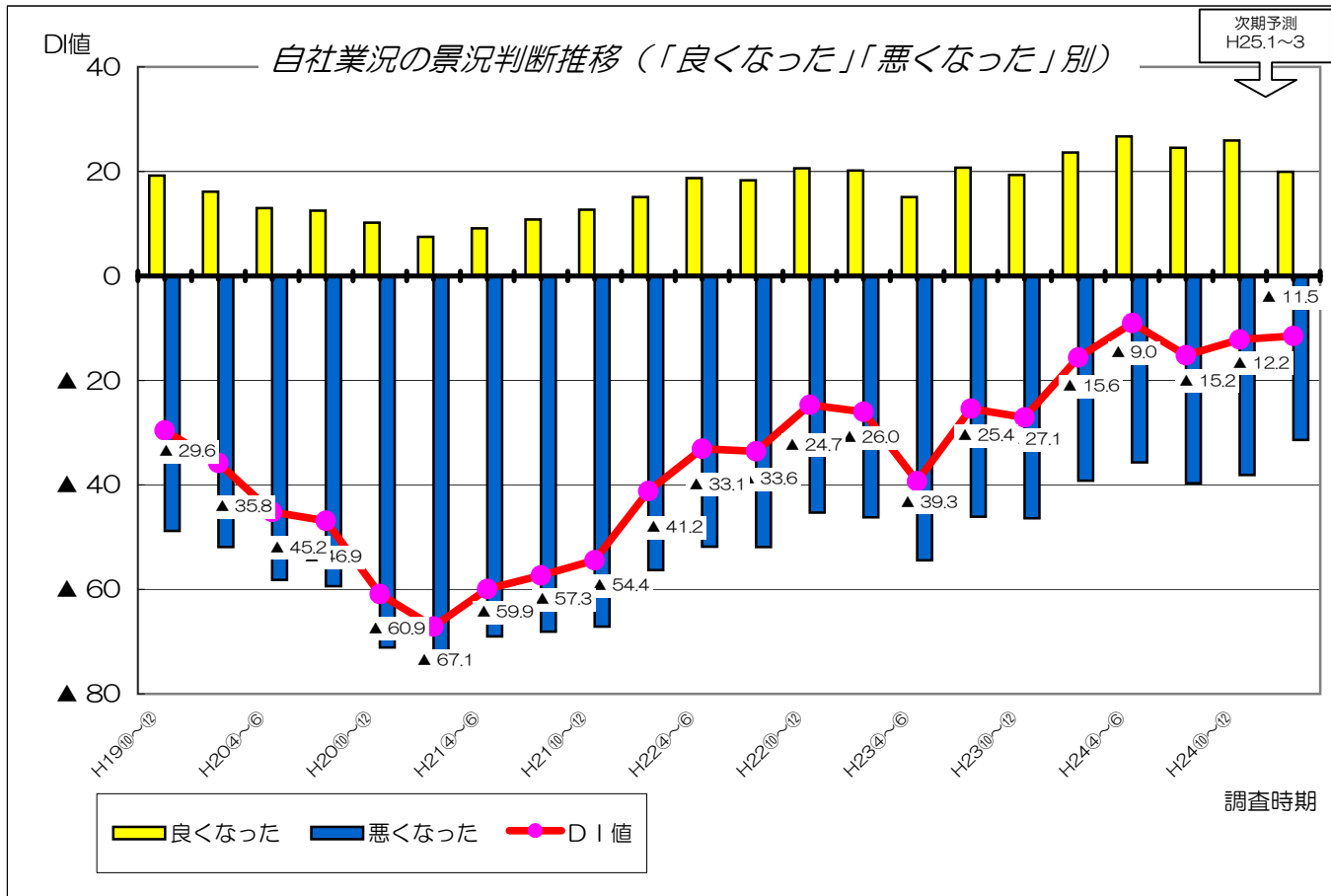
また、規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+3.7ポイント（前期DI値▲15.4）と改善した一方、大企業は前期比-6.2ポイント（同▲12.5）と2期連続で悪化した。

次四半期（H25年1～3月）の全業種予測DI値は▲11.5（今期比+0.7ポイント）となっており、ほぼ横ばいの見込みとなっている。

（単位 %）

	今四半期(24年10～12月期)実績							次四半期(25年1～3月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	1.3	24.6	35.9	31.5	6.6	0.2	▲12.2	0.6	19.3	43.9	28.0	3.4	4.8	▲11.5
建設業	0.0	31.8	37.3	26.4	4.5	0.0	0.9	0.9	29.1	40.0	20.9	3.6	5.5	5.5
製造業	0.0	25.3	34.9	34.9	4.8	0.0	▲14.4	0.0	18.1	48.2	30.1	2.4	1.2	▲14.4
卸売業	0.0	13.8	39.4	39.4	7.4	0.0	▲33.0	0.0	9.6	47.9	37.2	2.1	3.2	▲29.7
小売業	2.7	20.5	27.4	39.7	9.6	0.0	▲26.1	1.4	13.7	42.5	35.6	4.1	2.7	▲24.6
運輸・倉庫業	0.0	32.3	38.7	29.0	0.0	0.0	3.3	0.0	19.4	54.8	22.6	0.0	3.2	▲3.2
サービス業	2.6	25.5	36.4	27.3	7.8	0.4	▲7.0	0.9	20.8	41.6	25.1	4.3	7.4	▲7.7
中小企業	1.4	25.3	34.8	31.4	7.0	0.2	▲11.7	0.7	20.0	43.0	27.9	3.3	5.1	▲10.5
大企業	0.0	16.7	47.9	33.3	2.1	0.0	▲18.7	0.0	10.4	54.2	29.2	4.2	2.1	▲23.0





### 業界の景況

《3期連続の悪化、次期予測は反転改善へ》

地場企業から見た自社の属する業界の景況判断指数（DI値）は、全業種平均で「良くなった」と回答した企業割合が9.1%、「悪くなった」と回答した企業割合が48.0%、「横ばい」と回答した企業割合が42.0%となっており、DI値は▲38.9（前期DI値▲36.5）と前期比で-2.4ポイントと3期連続の悪化となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が+9.7ポイント（前期DI値▲22.6）、建設業+9.1ポイント（同▲30.9）、製造業+5.3ポイント（同▲45.1）と改善したものの、小売業-13.4ポイント（同▲38.6）、サービス業-7.5ポイント（同▲29.7）、卸売業-5.4ポイント（同▲54.2）と3業種で悪化となり、業種間で差が見られる。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比-2.1ポイント（前期DI値▲37.2）、大企業は-6.2ポイント（同▲27.1）と中小企業・大企業ともに悪化となった。

次四半期予測DI値は▲25.4となっており、今期比+13.5ポイントと改善が予測されている。

《 業界の景気動向（前年同期と比較して） 》

（単位 %）

	今四半期(24年10~12月期)実績							次四半期(25年1~3月期)予測						
	非常に良くなった	やや良くなった	横ばい	やや悪くなった	非常に悪くなった	未記入	DI値	非常に良くなる	やや良くなる	横ばい	やや悪くなる	非常に悪くなる	未記入	DI値
全業種	0.3	8.8	42.0	41.2	6.8	1.0	▲38.9	0.2	12.5	43.9	34.4	3.7	5.3	▲25.4
建設業	0.0	15.5	46.4	30.9	6.4	0.9	▲21.8	0.0	23.6	38.2	28.2	3.6	6.4	▲8.2
製造業	0.0	7.2	45.8	43.4	3.6	0.0	▲39.8	0.0	8.4	49.4	41.0	0.0	1.2	▲32.6
卸売業	0.0	2.1	36.2	52.1	9.6	0.0	▲59.6	0.0	3.2	41.5	48.9	3.2	3.2	▲48.9
小売業	1.4	4.1	37.0	47.9	9.6	0.0	▲52.0	1.4	8.2	39.7	39.7	8.2	2.7	▲38.3
運輸・倉庫業	0.0	12.9	61.3	25.8	0.0	0.0	▲12.9	0.0	16.1	58.1	22.6	0.0	3.2	▲6.5
サービス業	0.4	10.0	39.8	40.7	6.9	2.2	▲37.2	0.0	13.4	45.0	29.0	4.3	8.2	▲19.9
中小企業	0.3	9.2	40.6	41.8	7.0	1.0	▲39.3	0.2	12.7	42.9	34.8	3.8	5.6	▲25.7
大企業	0.0	4.2	58.3	33.3	4.2	0.0	▲33.3	0.0	10.4	56.3	29.2	2.1	2.1	▲20.9

## 2. 生産額、売上額、完成工事高

《2期ぶりの改善、次期予測は僅かながら更に改善へ》

生産額、売上額、完成工事高は、全業種平均で「増えた」と回答した企業割合は21.0%、「減った」と回答した企業割合は30.4%となっており、DI値は▲9.4（前期DI値▲13.0）と前期比+3.6ポイントの改善となった。

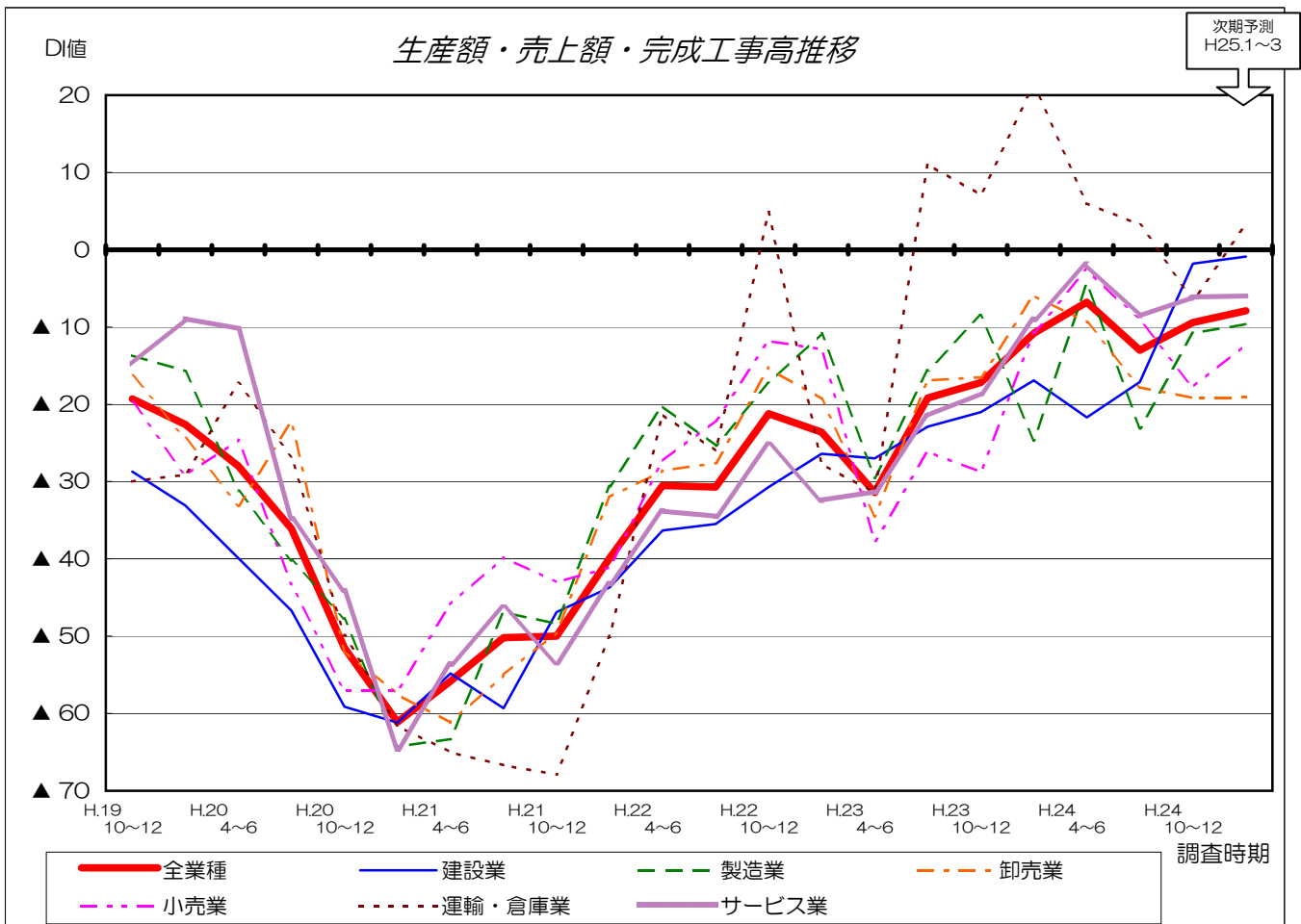
業種別に対前期比でDI値を見ると、建設業が+15.3ポイント、製造業+12.3ポイント、サービス業+2.5ポイントと改善したものの、運輸・倉庫業-9.7ポイント、小売業-8.6ポイント、卸売業-1.4ポイントと3業種で悪化となった。

売上が増加した理由としては、「受注、需要の増加」64.9%、「得意先開拓・客数の増加」46.6%に集中している。減少した理由としては、「受注、需要の減少」が67.2%と突出し、「客単価の低下」34.4%、「得意先開拓・客数の減少」33.3%、「出荷・販売価格の下落」22.8%の順となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+4.5ポイント（前期DI値▲13.2）と改善した一方、大企業では前期比-6.3ポイント（同▲10.4）の悪化となった。

（単位 %）

	今四半期(24年10~12月期)実績							次四半期(25年1~3月期)予測						
	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値	2ケタ増	1ケタ増	横ばい	1ケタ減	2ケタ減	未記入	DI値
全業種	3.2	17.8	46.1	23.8	6.6	2.4	▲9.4	1.3	15.1	51.3	20.4	3.9	8.0	▲7.9
建設業	0.9	21.8	51.8	20.9	3.6	0.9	▲1.8	1.8	20.0	49.1	20.0	2.7	6.4	▲0.9
製造業	2.4	19.3	43.4	28.9	3.6	2.4	▲10.8	1.2	14.5	56.6	20.5	4.8	2.4	▲9.6
卸売業	2.1	13.8	47.9	25.5	9.6	1.1	▲19.2	0.0	6.4	61.7	23.4	2.1	6.4	▲19.1
小売業	1.4	15.1	47.9	24.7	9.6	1.4	▲17.8	1.4	15.1	47.9	26.0	2.7	6.8	▲12.2
運輸・倉庫業	3.2	16.1	48.4	25.8	0.0	6.5	▲6.5	0.0	16.1	58.1	12.9	0.0	12.9	3.2
サービス業	5.6	18.2	42.9	22.1	7.8	3.5	▲6.1	1.7	16.5	46.3	18.6	5.6	11.3	▲6.0
中小企業	3.3	18.3	45.8	23.3	7.0	2.3	▲8.7	1.4	15.3	50.9	20.0	4.0	8.4	▲7.3
大企業	2.1	12.5	50.0	29.2	2.1	4.2	▲16.7	0.0	12.5	56.3	25.0	2.1	4.2	▲14.6





参考資料：（ 2. 生産額、売上額、完成工事高 ）

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より増加した主な理由（複数回答可）（単位 %）

増加理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増受注又は需要の減少	情道の路の変化、交通事	ズは製（商）品又は消費変化	金格出改定・荷下販売、料価	促売進出等の販売	へ開新製（商）野品	業業大手の参入、他	客得数の先増減拓	又は単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	6.9	64.9	1.5	6.1	7.6	8.4	10.7	3.1	46.6	11.5	4.6
建設業	0.0	96.0	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0	0.0	32.0	8.0	4.0
製造業	5.6	83.3	0.0	16.7	11.1	11.1	5.6	0.0	44.4	0.0	0.0
卸売業	20.0	60.0	0.0	6.7	20.0	13.3	13.3	0.0	66.7	13.3	13.3
小売業	8.3	25.0	8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	16.7	25.0	33.3	0.0
運輸・倉庫業	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
サービス業	3.6	58.2	0.0	5.5	3.6	7.3	14.5	3.6	50.9	12.7	5.5
中小企業	6.5	65.3	0.8	5.6	8.1	7.3	10.5	2.4	46.0	10.5	4.8
大企業	14.3	57.1	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	57.1	28.6	0.0

増加理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の抜、ダウ質（商）	採算線部門張縮、小	変移工場、立地舗の	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争の	又両機は導廃止、備買替車	員営の増減、外商社	手技の増減、運転	又駐は車場の増設	その他	無回答
全業種	1.5	4.6	2.3	5.3	2.3	0.8	5.3	6.1	0.8	7.6	3.1
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0
製造業	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	11.1	0.0
卸売業	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
小売業	0.0	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	0.0	1.8	1.8	7.3	1.8	0.0	9.1	3.6	1.8	12.7	3.6
中小企業	1.6	4.8	0.8	4.8	2.4	0.8	4.0	5.6	0.8	6.5	3.2
大企業	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0

今期の生産額、売上額、完成工事高が前年同期より減少した主な理由（複数回答可）（単位 %）

減少理由	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	天候などの自然条件	増受注又は需要の減少	情道の路の変化、交通事	ズは製（商）品又は消費変化	金格出改定・荷下販売、料価	促売進出等の販売	へ開新製（商）野品	業業大手の参入、他	客得数の先増減拓	又は単価の下上昇	品取量の増減（商）
全業種	12.7	67.2	0.5	14.3	22.8	0.5	1.1	14.3	33.3	34.4	8.5
建設業	0.0	77.8	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	18.5	25.9	40.7	0.0
製造業	7.4	81.5	0.0	11.1	44.4	0.0	3.7	3.7	37.0	25.9	18.5
卸売業	18.2	72.7	3.0	15.2	24.2	0.0	0.0	6.1	33.3	45.5	12.1
小売業	24.0	60.0	0.0	20.0	12.0	4.0	0.0	20.0	44.0	28.0	8.0
運輸・倉庫業	12.5	62.5	0.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	12.5
サービス業	13.0	58.0	0.0	17.4	26.1	0.0	0.0	20.3	29.0	36.2	5.8
中小企業	12.1	67.2	0.6	15.5	23.6	0.6	1.1	14.4	35.1	35.1	9.2
大企業	20.0	66.7	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	13.3	13.3	26.7	0.0

減少理由	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	上品取の抜、ダウ質（商）	採算線部門張縮、小	変移工場、立地舗の	約支店の開設、特	力老設の低化、店競争の	又両機は導廃止、備買替車	員営の増減、外商社	手技の増減、運転	又駐は車場の増設	その他	無回答
全業種	1.6	1.6	2.1	2.1	4.8	1.6	4.8	4.8	0.0	7.9	2.1
建設業	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4	22.2	0.0	3.7	7.4
製造業	0.0	0.0	3.7	0.0	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	6.1	3.0	6.1	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	9.1	0.0
小売業	0.0	0.0	4.0	8.0	8.0	0.0	16.0	0.0	0.0	12.0	0.0
運輸・倉庫業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
サービス業	1.4	1.4	0.0	2.9	7.2	1.4	2.9	2.9	0.0	10.1	2.9
中小企業	1.7	1.7	2.3	1.7	4.6	1.7	5.2	5.2	0.0	8.0	1.7
大企業	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7



### 3. 原材料、製（商）品仕入価格

《横ばい、次期予測は「上昇」へ》

原材料、製（商）品仕入価格は「上昇」と回答した企業割合は17.5%、「下落」と回答した企業割合は5.1%となっており、DI値は12.4（前期DI値12.3）と前期比+0.1ポイントの「横ばい」となっている。

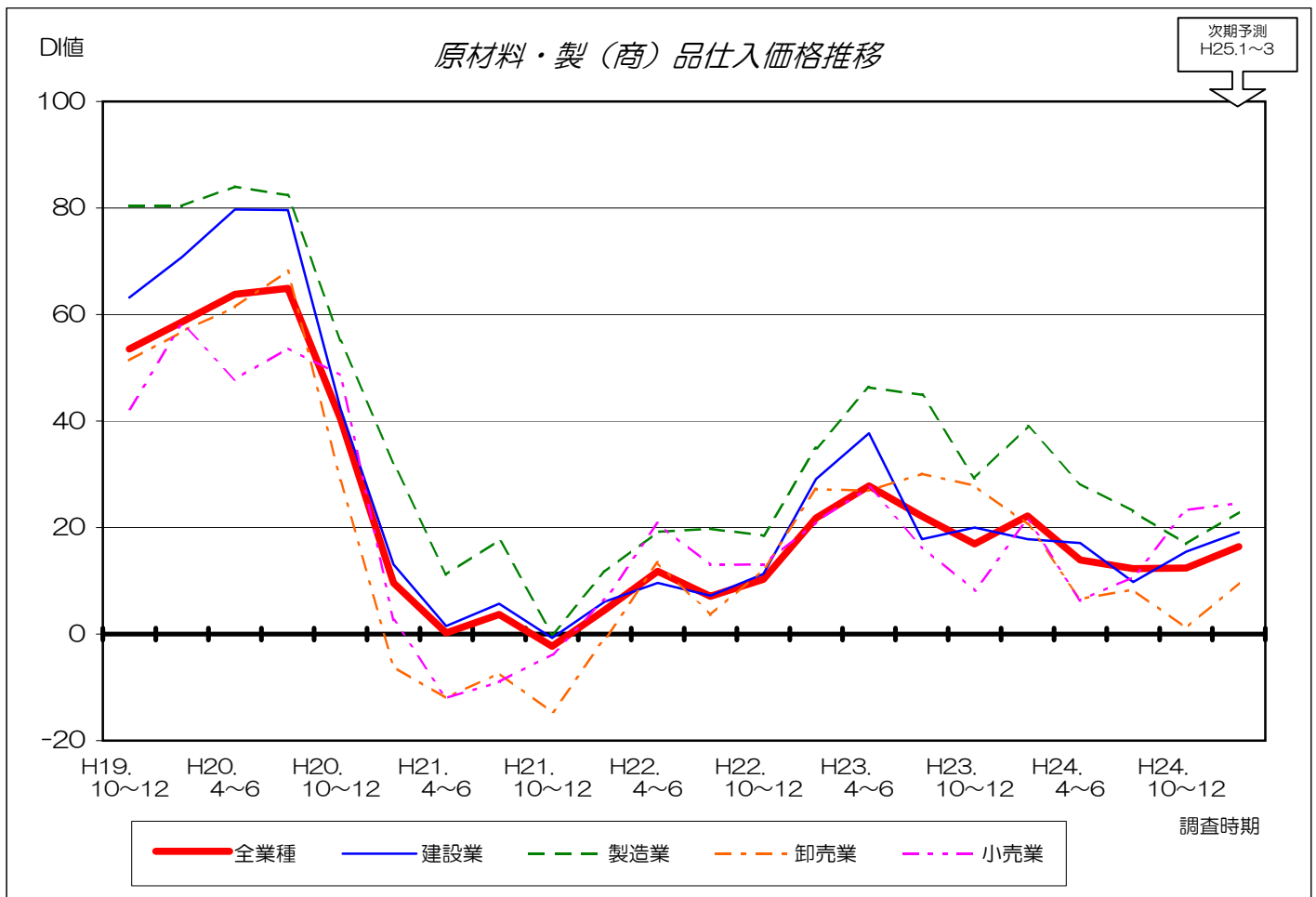
業種別に対前期比でDI値を見ると、小売業が+12.6ポイント、建設業+5.7ポイントと上昇となったが、運輸・倉庫業では、±0.0ポイントの横ばいで、卸売業-7.3ポイント、製造業-6.2ポイント、サービス業-1.4ポイントの下落となっている。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+0.1ポイント（前期DI値13.1）、大企業は前期比-0.1ポイント（同2.1）と中小企業・大企業ともにおおむね横ばいとなっている。

また、次四半期予測DI値については16.4となっており、今期比で+4.0ポイントと「上昇」予測となっている。

《 原材料、製品仕入価格(前年同期と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(24年10~12月期)実績					次四半期(25年1~3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	17.5	64.6	5.1	12.7	12.4	18.8	59.8	2.4	19.0	16.4
建設業	17.3	74.5	1.8	6.4	15.5	20.9	64.5	1.8	12.7	19.1
製造業	21.7	73.5	4.8	0.0	16.9	24.1	69.9	1.2	4.8	22.9
卸売業	16.0	69.1	14.9	0.0	1.1	16.0	73.4	6.4	4.3	9.6
小売業	28.8	63.0	5.5	2.7	23.3	30.1	56.2	5.5	8.2	24.6
運輸・倉庫業	9.7	48.4	0.0	41.9	9.7	19.4	32.3	0.0	48.4	19.4
サービス業	14.3	57.6	3.5	24.7	10.8	13.4	53.2	0.9	32.5	12.5
中小企業	18.3	63.8	5.1	12.9	13.2	19.0	59.4	2.3	19.3	16.7
大企業	8.3	75.0	6.3	10.4	2.0	16.7	64.6	4.2	14.6	12.5



#### 4. 受注価格、販売価格

《僅かながら改善、次期予測は更に改善へ》

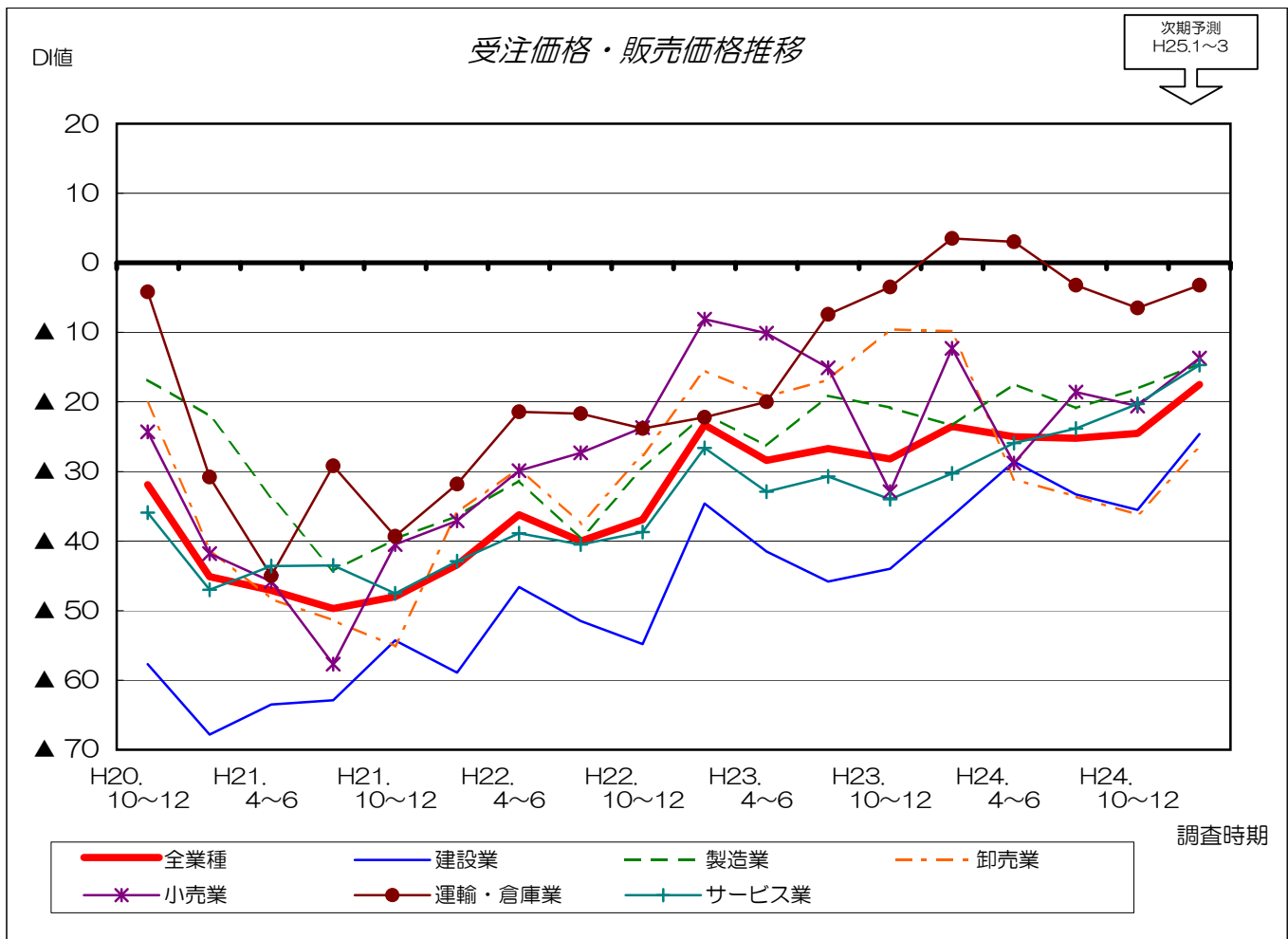
受注価格、販売価格については、「上昇」と回答した企業割合は4.0%、「下落」と回答した企業割合は28.5%となっており、DI値は▲24.5（前期DI値▲25.2）と前期比+0.7ポイントと僅かながら改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、サービス業+3.5ポイント、製造業+2.8ポイントと上昇したものの、運輸・倉庫業-3.3ポイント、卸売業-2.6ポイント、建設業-2.2ポイント、小売業-2.0ポイントの下落となった。

次四半期予測DI値については▲17.5となっており、今期比で+7.0ポイントの改善予測となっている。

《 受注価格、販売価格(前年同月と比較して) 》 (単位 %)

	今四半期(24年10~12月期)実績					次四半期(25年1~3月期)予測				
	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値	上昇	横ばい	下落	未記入	DI値
全業種	4.0	64.0	28.5	3.5	▲24.5	4.2	64.0	21.7	10.1	▲17.5
建設業	0.9	60.0	36.4	2.7	▲35.5	4.5	58.2	29.1	8.2	▲24.6
製造業	3.6	73.5	21.7	1.2	▲18.1	3.6	73.5	18.1	4.8	▲14.5
卸売業	3.2	57.4	39.4	0.0	▲36.2	4.3	59.6	30.9	5.3	▲26.6
小売業	8.2	60.3	28.8	2.7	▲20.6	9.6	58.9	23.3	8.2	▲13.7
運輸・倉庫業	0.0	83.9	6.5	9.7	▲6.5	0.0	80.6	3.2	16.1	▲3.2
サービス業	5.2	63.6	25.5	5.6	▲20.3	3.0	64.5	17.7	14.7	▲14.7
中小企業	3.8	64.5	27.9	3.8	▲24.1	3.8	64.3	21.3	10.6	▲17.5
大企業	6.3	58.3	35.4	0.0	▲29.1	8.3	60.4	27.1	4.2	▲18.8



## 5. 製（商）品在庫

《僅かながら改善、次期予測は更に改善へ》

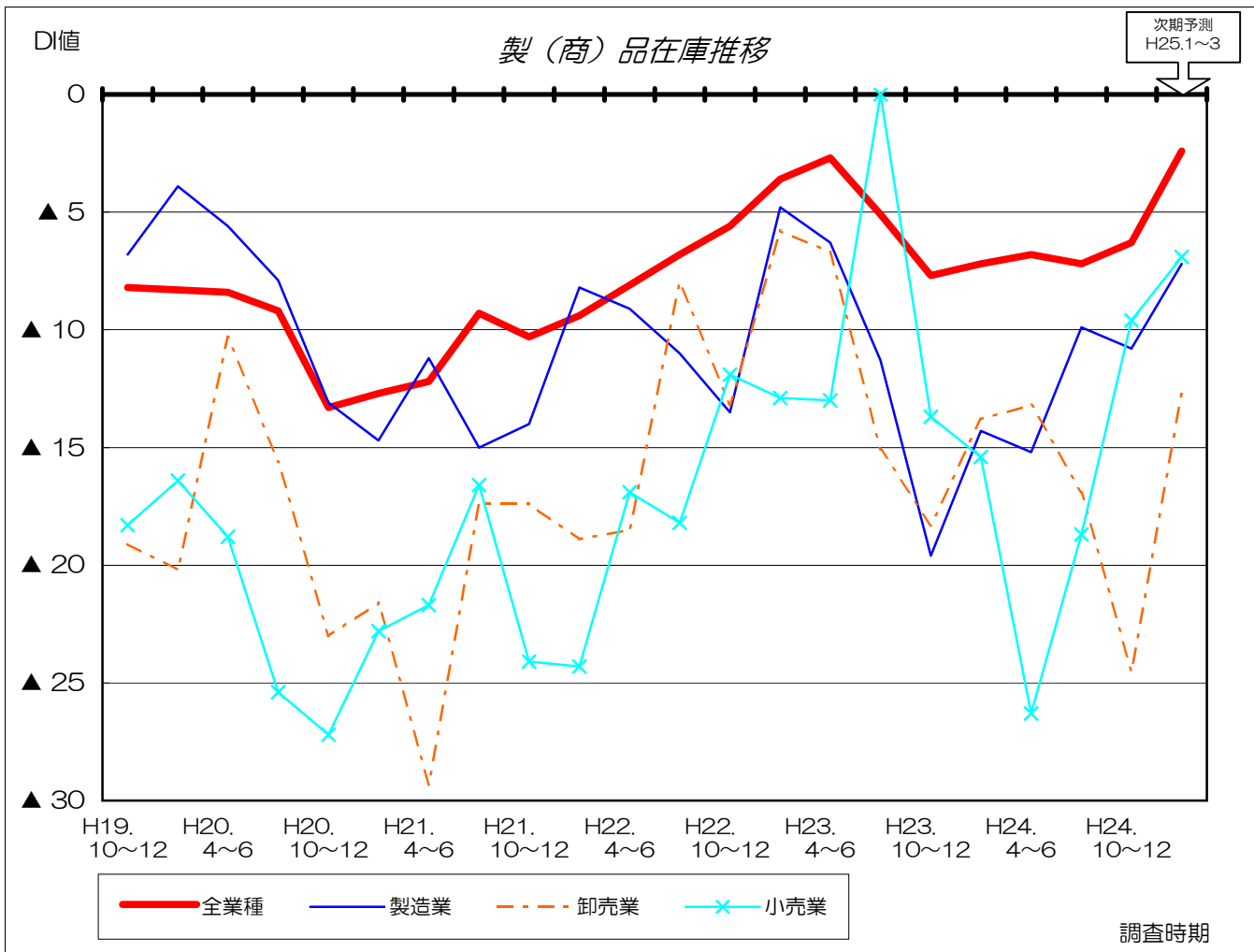
製（商）品在庫は、「適正」と回答した企業割合は63.8%、「不足」と回答した企業割合は2.7%、「過剰」と回答した企業割合は9.0%となっており、DI値は▲6.3（前期DI値▲7.2）と前期比+0.9ポイントで僅かながら改善となった。

次四半期予測DI値については▲2.4となっており、今期比で+3.9ポイントと更に改善が予測されている。

《製（商）品在庫（貴社の適正水準と比較して）》

（単位 %）

	今四半期(24年10~12月期)実績					次四半期(25年1~3月期)予測				
	不足	適正	過剰	未記入	DI値	不足	適正	過剰	未記入	DI値
全業種	2.7	63.8	9.0	24.4	▲6.3	2.9	61.7	5.3	30.1	▲2.4
建設業	1.8	59.1	1.8	37.3	0.0	3.6	53.6	0.0	42.7	3.6
製造業	1.2	84.3	12.0	2.4	▲10.8	0.0	86.7	7.2	6.0	▲7.2
卸売業	0.0	72.3	24.5	3.2	▲24.5	1.1	77.7	13.8	7.4	▲12.7
小売業	5.5	72.6	15.1	6.8	▲9.6	6.8	68.5	13.7	11.0	▲6.9
運輸・倉庫業	0.0	32.3	3.2	64.5	▲3.2	0.0	29.0	0.0	71.0	0.0
サービス業	4.3	56.7	3.9	35.1	0.4	3.5	52.4	1.7	42.4	1.8
中小企業	2.8	63.9	8.7	24.6	▲5.9	2.8	61.7	5.1	30.5	▲2.3
大企業	2.1	62.5	12.5	22.9	▲10.4	4.2	62.5	8.3	25.0	▲4.1



## 6. 営業利益

《2期ぶりの改善、次期予測は僅かながら更に改善へ》

営業利益は、「増加」と回答した企業割合は17.5%、「減少」と回答した企業割合は40.5%、「横ばい」と回答した企業割合は40.2%となり、DI値は▲23.0（前期DI値▲25.4）と前期比+2.4ポイントの改善となった。

業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が+9.6ポイント（前期DI値▲25.8）、建設業+9.2ポイント（同▲37.4）、製造業+8.1ポイント（同▲28.6）、卸売業+5.2ポイント（同▲31.8）、サービス業+2.0ポイント（同▲22.3）と改善したものの、小売業では、-20.7ポイント（同▲4.0）と大幅な悪化となった。

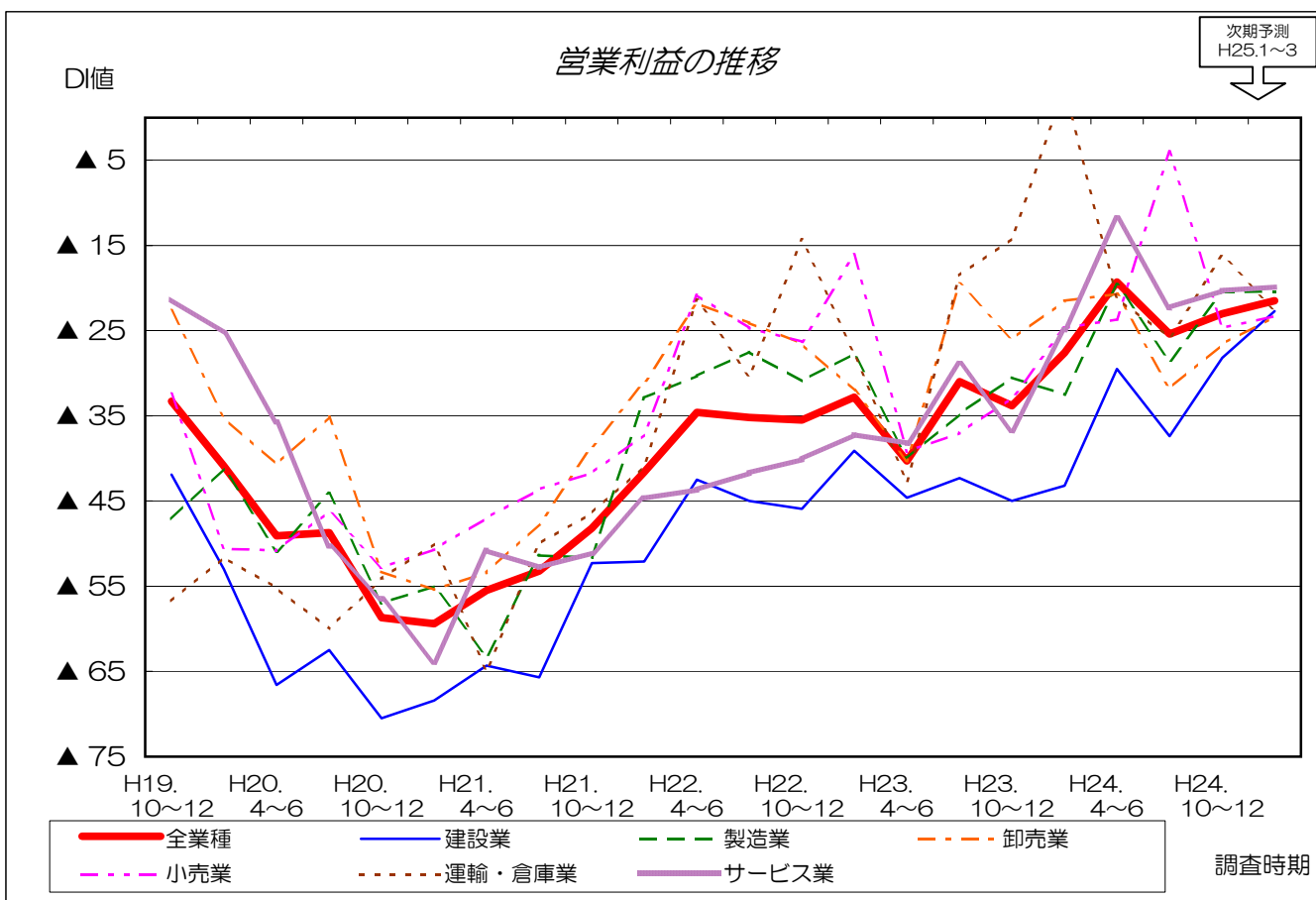
規模別のDI値を見ると、中小企業では前期比+3.7ポイント（前期DI値▲26.6）と改善した一方、大企業は前期比-14.6ポイント（同▲10.4）の悪化となった。

次四半期予測DI値については▲21.5となっており、今期比で+1.5ポイントの改善が予測されている。

《 営業利益(前年同期と比較して) 》

( 単位 % )

	今四半期(24年10~12月期)実績					次四半期(25年1~3月期)予測				
	増加	横ばい	減少	未記入	DI値	増加	横ばい	減少	未記入	DI値
全業種	17.5	40.2	40.5	1.8	▲23.0	10.3	49.4	31.8	8.5	▲21.5
建設業	9.1	52.7	37.3	0.9	▲28.2	7.3	55.5	30.0	7.3	▲22.7
製造業	19.3	41.0	39.8	0.0	▲20.5	13.3	49.4	33.7	3.6	▲20.4
卸売業	16.0	40.4	42.6	1.1	▲26.6	5.3	60.6	28.7	5.3	▲23.4
小売業	16.4	39.7	41.1	2.7	▲24.7	13.7	42.5	37.0	6.8	▲23.3
運輸・倉庫業	16.1	48.4	32.3	3.2	▲16.2	3.2	61.3	25.8	9.7	▲22.6
サービス業	22.1	32.9	42.4	2.6	▲20.3	12.6	42.4	32.5	12.6	▲19.9
中小企業	17.9	39.7	40.8	1.6	▲22.9	10.5	49.8	31.0	8.7	▲20.5
大企業	12.5	45.8	37.5	4.2	▲25.0	8.3	43.8	41.7	6.3	▲33.4



## 7. 売掛期間

《2期ぶりの改善、次期予測は僅かながら更に改善へ》

売掛期間は、「短縮化」と回答した企業割合は1.8%、「長期化」と回答した企業割合は7.4%、「不変」と回答した企業割合は86.7%となっており、D I 値は▲5.6（前期D I 値▲8.3）と前期比+2.7ポイントの改善となった。

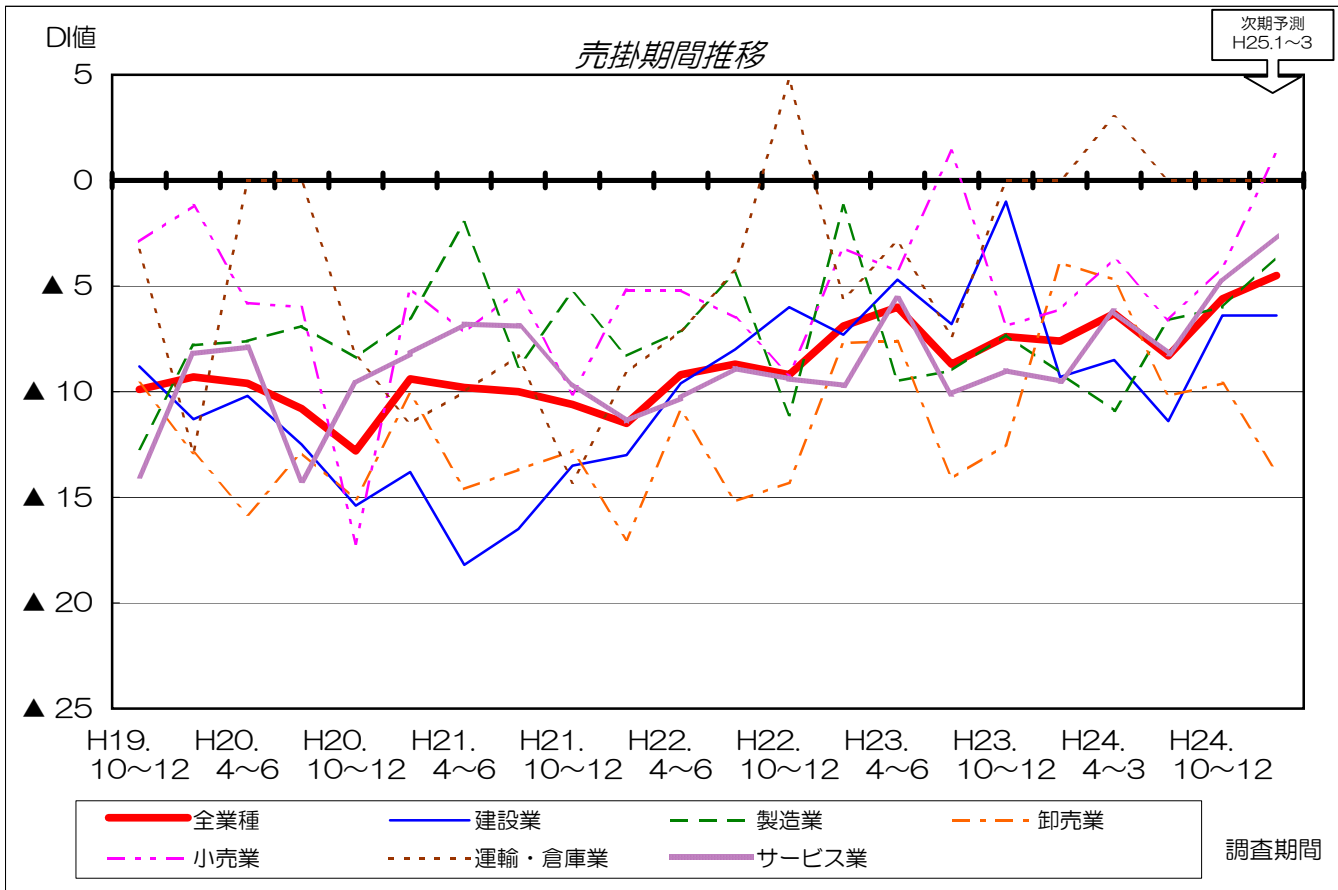
規模別のD I 値を見ると、中小企業は前期比+3.0ポイント（前期D I 値▲9.1）と改善した一方、大企業では前期比-2.1ポイント（同2.1）の悪化となった。

次四半期予測D I 値については▲4.5となっており、今期比+1.1ポイントの改善が予測されている。

《 売掛期間(前年同期と比較して)》

( 単位 % )

	今四半期(24年10~12月期)実績					次四半期(25年1~3月期)予測				
	短縮化	不変	長期化	未記入	D I 値	短縮化	不変	長期化	未記入	D I 値
全業種	1.8	86.7	7.4	4.2	▲5.6	1.8	81.0	6.3	10.9	▲4.5
建設業	1.8	87.3	8.2	2.7	▲6.4	1.8	80.9	8.2	9.1	▲6.4
製造業	0.0	94.0	6.0	0.0	▲6.0	0.0	92.8	3.6	3.6	▲3.6
卸売業	2.1	84.0	11.7	2.1	▲9.6	1.1	77.7	14.9	6.4	▲13.8
小売業	1.4	90.4	5.5	2.7	▲4.1	2.7	89.0	1.4	6.8	▲1.3
運輸・倉庫業	0.0	83.9	0.0	16.1	0.0	0.0	77.4	0.0	22.6	0.0
サービス業	2.6	84.0	7.4	6.1	▲4.8	2.6	76.2	5.2	16.0	▲2.6
中小企業	1.6	86.6	7.7	4.2	▲6.1	1.6	80.5	6.6	11.3	▲5.0
大企業	4.2	87.5	4.2	4.2	0.0	4.2	87.5	2.1	6.3	2.1



## 8. 資金繰り

《2期ぶりの改善、次期予測は反転悪化へ》

資金繰りについては、「楽である」と回答した企業は6.9%、「苦しい」と回答した企業は21.2%、「不変」と回答した企業は69.5%となっており、DI値は▲14.3（前期DI値▲18.4）と前期比+4.1ポイントの改善となった。

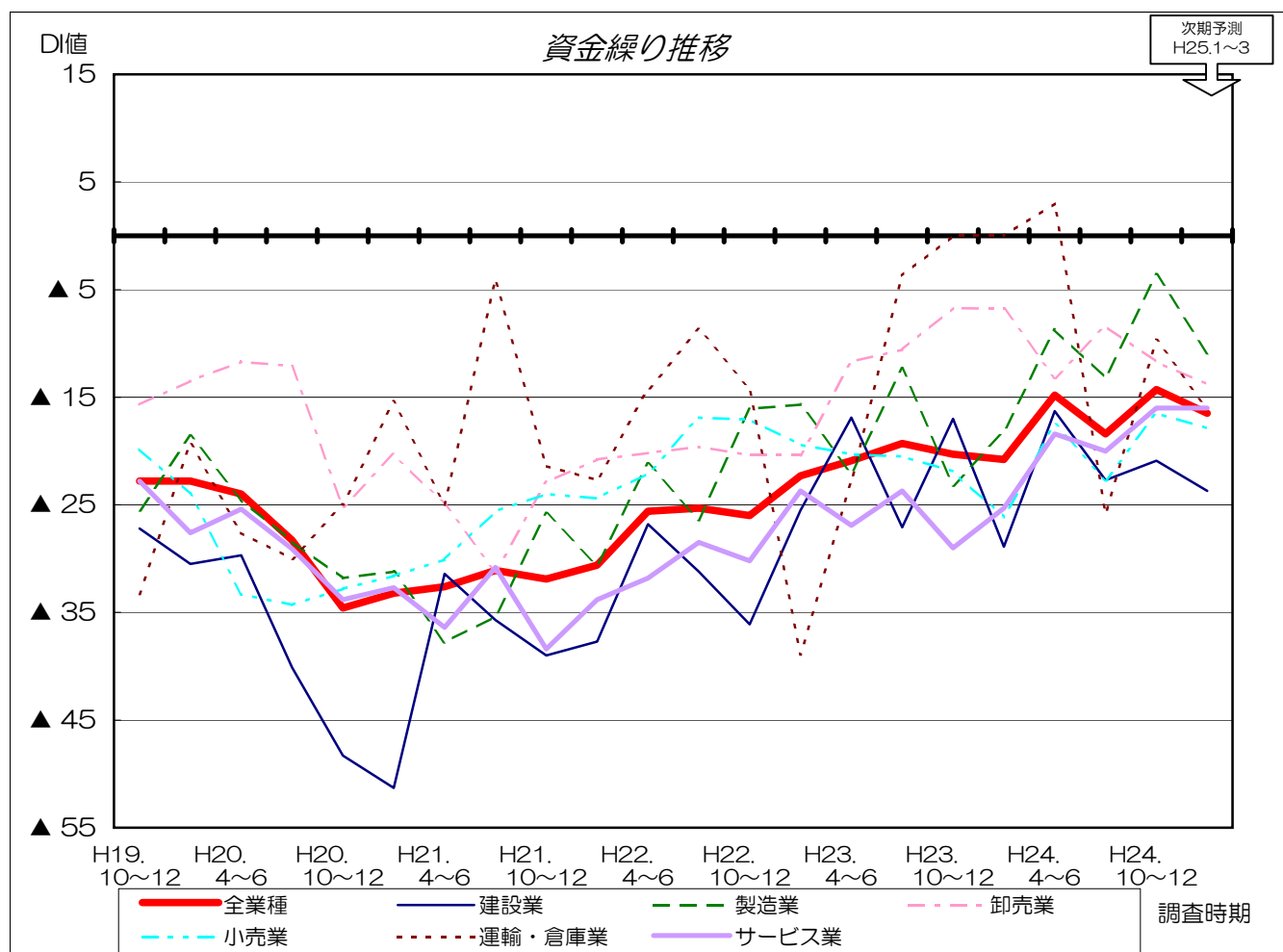
業種別に対前期比でDI値を見ると、運輸・倉庫業が+16.1ポイント、製造業+9.6ポイント、小売業+6.2ポイント、サービス業+4.0ポイント、建設業+1.8ポイント、卸売業-3.3ポイントと卸売業を除く、全ての業種で改善となった。

規模別のDI値を見ると、中小企業は前期比+4.7ポイント（前期DI値▲19.5）と改善した一方、大企業は前期比-6.2ポイント（前期DI値▲2.1）の悪化となった。

《 資金繰り(前年同期と比較して) 》

(単位 %)

	今四半期(24年10~12月期)実績					次四半期(25年1~3月期)予測				
	楽である	不変	苦しい	未記入	DI値	楽になる	不変	苦しくなる	未記入	DI値
全業種	6.9	69.5	21.2	2.4	▲14.3	4.7	64.5	21.2	9.6	▲16.5
建設業	6.4	64.5	27.3	1.8	▲20.9	3.6	60.0	27.3	9.1	▲23.7
製造業	7.2	80.7	10.8	1.2	▲3.6	3.6	77.1	14.5	4.8	▲10.9
卸売業	3.2	79.8	14.9	2.1	▲11.7	3.2	72.3	17.0	7.4	▲13.8
小売業	6.8	68.5	23.3	1.4	▲16.5	6.8	63.0	24.7	5.5	▲17.9
運輸・倉庫業	3.2	80.6	12.9	3.2	▲9.7	0.0	74.2	16.1	9.7	▲16.1
サービス業	9.1	62.3	25.1	3.5	▲16.0	6.1	58.0	22.1	13.9	▲16.0
中小企業	7.5	67.8	22.3	2.4	▲14.8	5.1	62.5	22.5	9.9	▲17.4
大企業	0.0	89.6	8.3	2.1	▲8.3	0.0	87.5	6.3	6.3	▲6.3



## 9. 100万円以上の新規借入

100万円以上の新規借入を「行った」とする企業は44.5%（前期40.4%）と前期比で+4.1%の増加となった。一方で、「行ってない」とする企業は53.9%（前期57.0%）と前期比で-3.1%の減少となった。

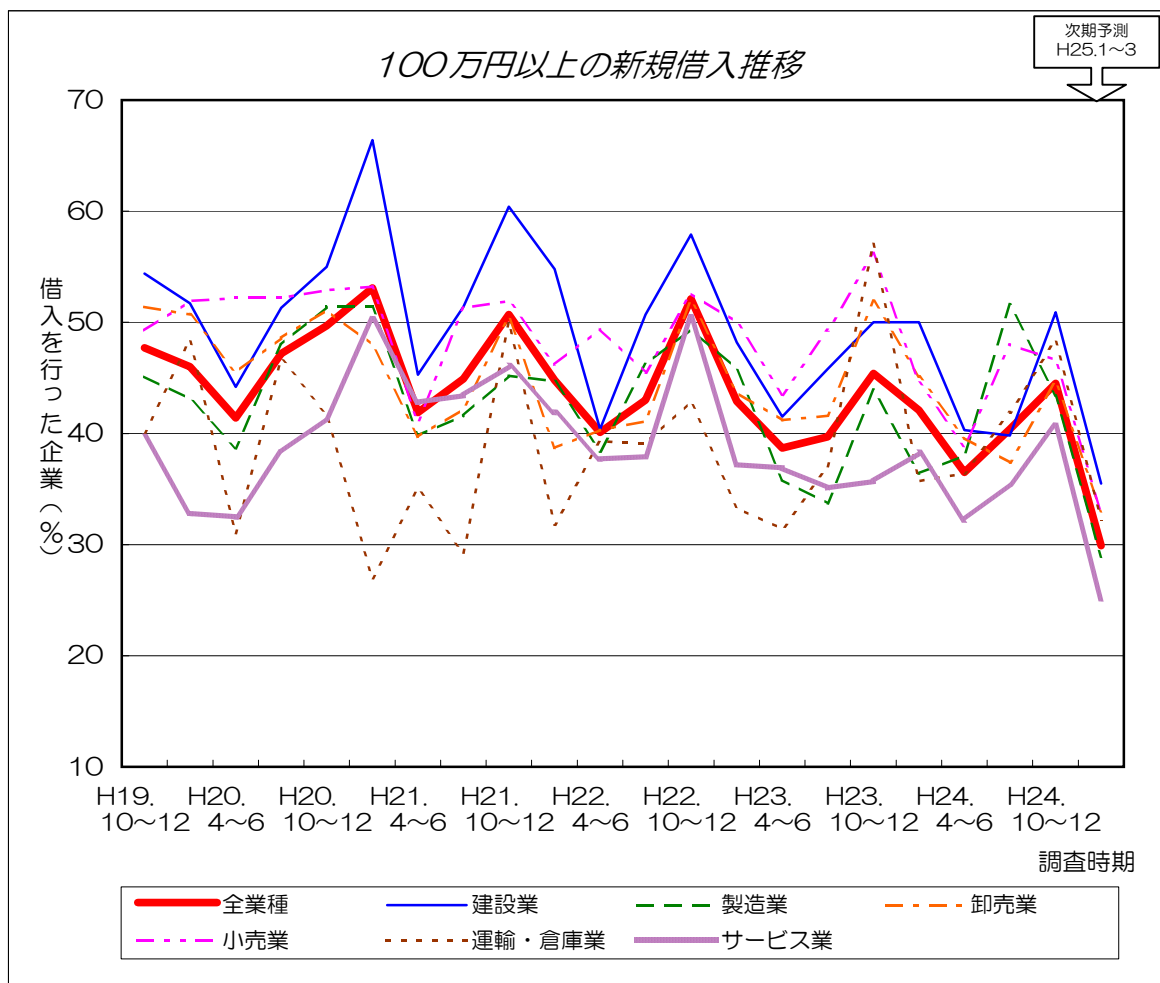
資金用途については、「運転」69.7%、「運転・設備」14.8%、「設備」7.9%という内訳になっている。

次四半期については、「行う予定」とする企業は29.9%、「行わない」とする企業は62.9%となっている。

《 100万円以上の新規借入 》

（単位 %）

	今四半期(24年10~12月期)実績			次四半期(25年1~3月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	44.5	53.9	1.6	29.9	62.9	7.2
建設業	50.9	47.3	1.8	35.5	59.1	5.5
製造業	43.4	56.6	0.0	28.9	65.1	6.0
卸売業	44.7	52.1	3.2	33.0	60.6	6.4
小売業	46.6	53.4	0.0	32.9	60.3	6.8
運輸・倉庫業	48.4	51.6	0.0	32.3	61.3	6.5
サービス業	40.7	57.1	2.2	25.1	65.8	9.1
中小企業	44.1	54.4	1.6	28.9	63.6	7.5
大企業	50.0	47.9	2.1	41.7	54.2	4.2





100万円以上の新規借入資金使途

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 新規借入の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 新規借入予定の資金使途(予測)			
	運転資金	運転設備	設備資金	無回答	運転資金	運転設備	設備資金	無回答
全業種	69.7	14.8	7.9	7.6	64.5	14.5	10.8	10.2
建設業	80.4	8.9	7.1	3.6	87.2	2.6	7.7	2.6
製造業	58.3	27.8	2.8	11.1	62.5	25.0	4.2	8.3
卸売業	71.4	9.5	7.1	11.9	61.3	12.9	12.9	12.9
小売業	70.6	20.6	8.8	0.0	54.2	33.3	12.5	0.0
運輸・倉庫業	33.3	26.7	20.0	20.0	30.0	20.0	30.0	20.0
サービス業	72.3	11.7	8.5	7.4	62.1	10.3	10.3	17.2
中小企業	71.1	13.0	7.9	7.9	66.3	12.7	10.8	10.2
大企業	54.2	33.3	8.3	4.2	50.0	30.0	10.0	10.0

## 10. 100万円以上の設備投資

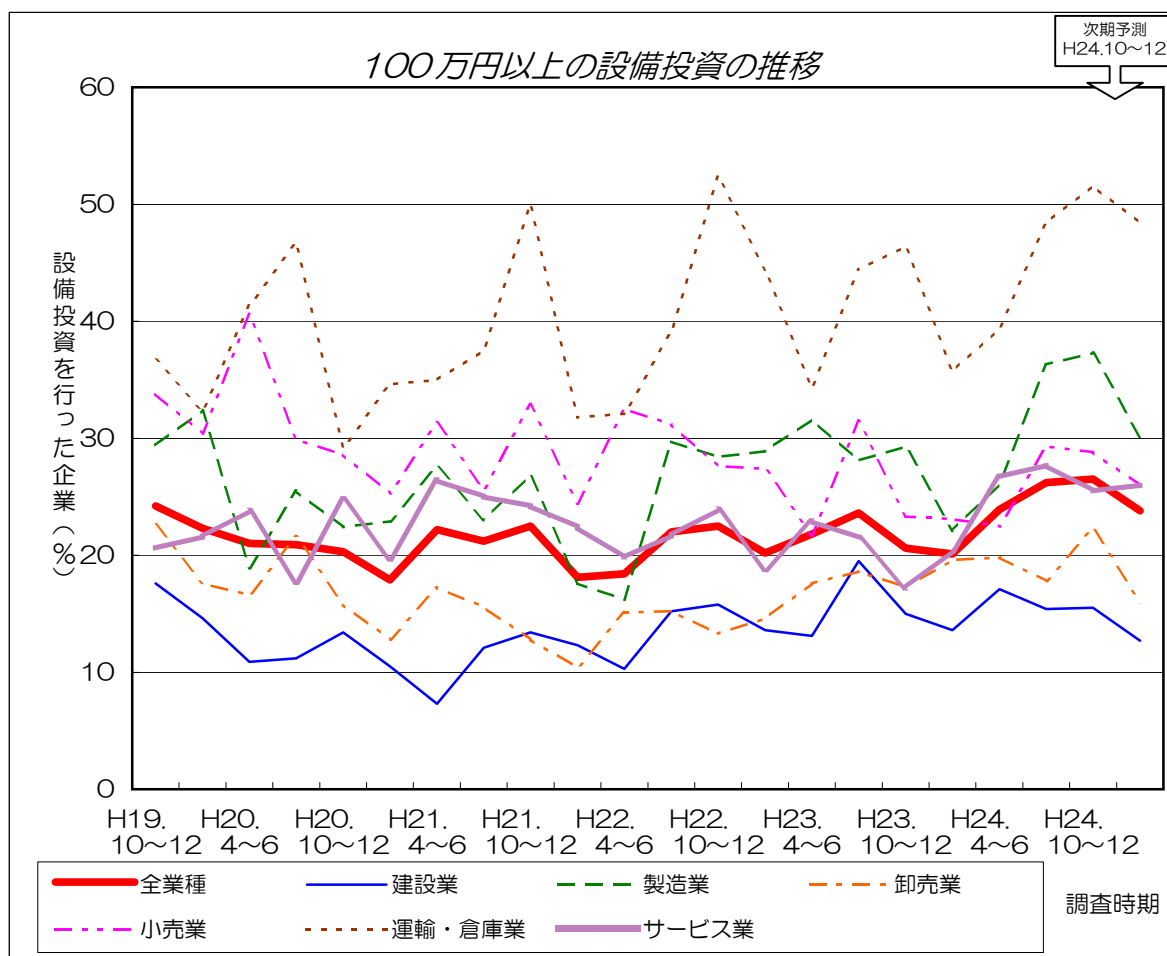
100万円以上の設備投資を「行った」とする企業は26.5%、「行ってない」とする企業は69.9%となっており、その投資内容については、「新規・更新」32.7%、「新規」24.8%、「更新」29.7%という内訳になった。

次期予測については、「行う予定」とする企業は23.8%、「行わない」とする企業は67.8%であり、その投資内容については、「新規・更新」33.1%、「新規」20.9%、「更新」36.5%となっている。

《 100万円以上の設備投資 》

( 単位 % )

	今四半期(24年10~12月期)実績			次四半期(25年1~3月期)予測		
	行った	行ってない	無回答	行う予定	行わない	無回答
全業種	26.5	69.9	3.5	23.8	67.8	8.4
建設業	15.5	78.2	6.4	12.7	81.8	5.5
製造業	37.3	62.7	0.0	30.1	62.7	7.2
卸売業	22.3	74.5	3.2	16.0	77.7	6.4
小売業	28.8	69.9	1.4	26.0	65.8	8.2
運輸・倉庫業	51.6	48.4	0.0	48.4	45.2	6.5
サービス業	25.5	69.7	4.8	26.0	62.8	11.3
中小企業	23.3	73.0	3.7	20.7	70.6	8.7
大企業	64.6	33.3	2.1	60.4	35.4	4.2



## 100万円以上の設備投資

(単位 %)

	今四半期100万円以上の 設備投資の資金使途(実績)				次四半期100万円以上の 設備投資計画の資金使途(予測)			
	新規	新規、更新	更新	無回答	新規	新規、更新	更新	無回答
全業種	24.8	32.7	29.7	12.7	20.9	33.1	36.5	9.5
建設業	17.6	29.4	41.2	11.8	28.6	28.6	28.6	14.3
製造業	25.8	45.2	22.6	6.5	24.0	36.0	32.0	8.0
卸売業	38.1	23.8	33.3	4.8	33.3	53.3	6.7	6.7
小売業	28.6	47.6	23.8	0.0	26.3	47.4	26.3	0.0
運輸・倉庫業	18.8	18.8	50.0	12.5	13.3	26.7	53.3	6.7
サービス業	22.0	28.8	25.4	23.7	15.0	25.0	46.7	13.3
中小企業	27.6	28.4	30.6	13.4	24.4	27.7	37.8	10.1
大企業	12.9	51.6	25.8	9.7	6.9	55.2	31.0	6.9

## 11. 当面の経営上の問題点

当面の経営上の問題点としては、「受注、販売競争の激化」55.8%、「売上額、生産額、工事高の伸び悩み」52.6%、「営業利益の低下」39.9%の3項目を指摘する傾向が続いており、全業種ともほぼ3項目に集中している。

他に指摘が集中した項目として、小売業では「同業者、類似店、大型店の進出」が全業種で12.7%に対し32.9%、建設業では「官公需要の停滞」が全業種で16.6%に対し37.3%、製造業では「販売価格への転嫁難」が全業種で17.2%に対し30.1%、運輸・倉庫業では「人材難、求人難、定着性の悪化」が全業種で21.9%に対して45.2%と突出し、高水準となっているのが特徴である。

《 当面の経営上の問題点(複数回答可) 》

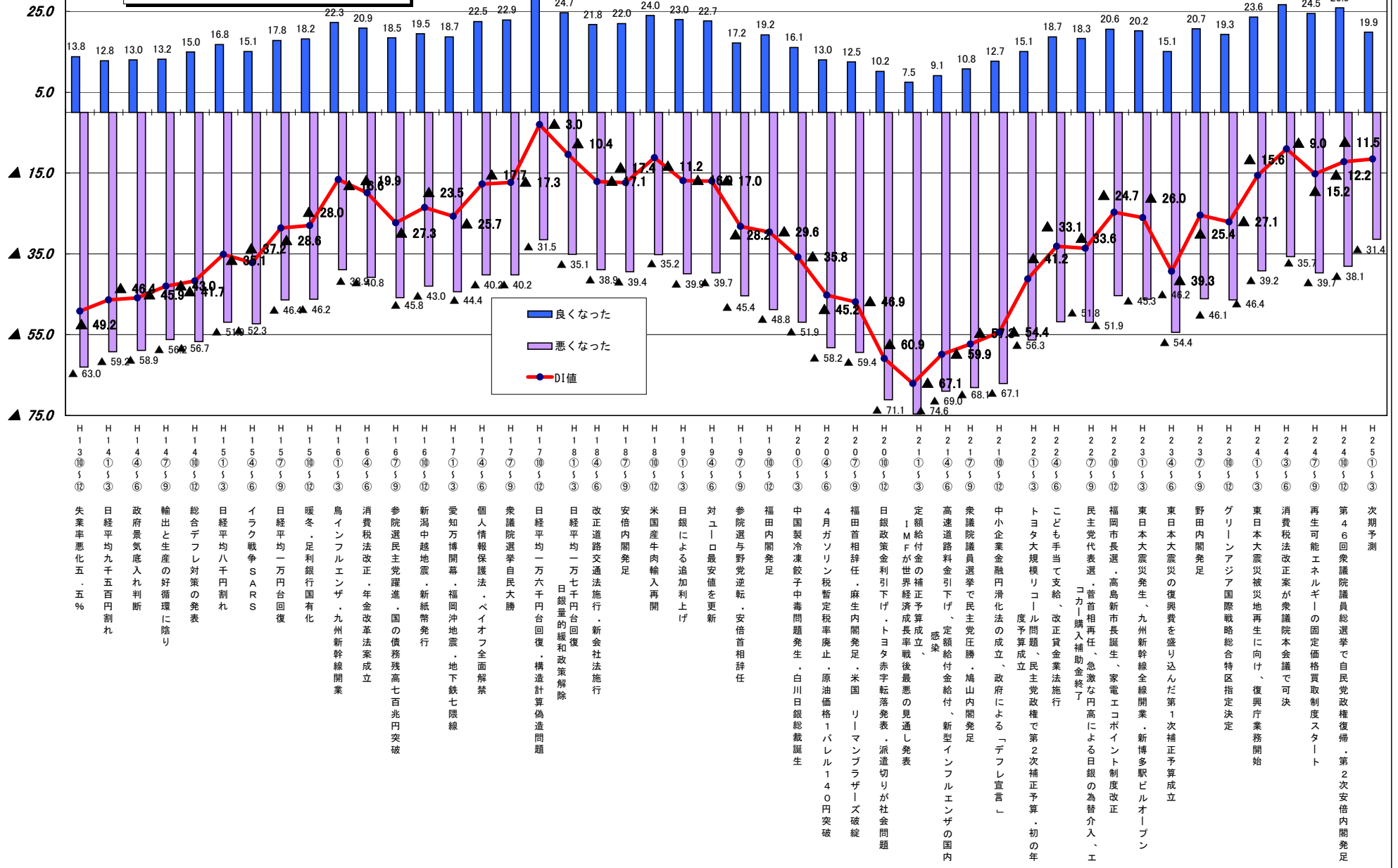
(単位 %)

問題点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	の受注激化、販売競争	び額売、上額、工事高の産伸	出店、業者、大型店の進	官公需要の停滞	輸出不振	元請の減少	低下率、稼働率	難原材料高、入手	の出荷下、納品価格	過剰在庫	嫁販売価格への転	増難販、売不賃の債の収	化売、掛金の長期
全業種	55.8	52.6	12.7	16.6	2.4	6.4	5.0	11.1	12.4	3.5	17.2	5.1	5.8
建設業	68.2	60.0	4.5	37.3	0.0	18.2	3.6	9.1	9.1	0.0	9.1	4.5	8.2
製造業	51.8	56.6	4.8	13.3	6.0	1.2	9.6	22.9	22.9	6.0	30.1	4.8	6.0
卸売業	66.0	52.1	16.0	11.7	5.3	0.0	4.3	13.8	21.3	9.6	27.7	11.7	9.6
小売業	49.3	52.1	32.9	6.8	1.4	0.0	0.0	9.6	12.3	8.2	17.8	5.5	2.7
運輸・倉庫業	38.7	51.6	9.7	6.5	9.7	3.2	12.9	19.4	3.2	0.0	16.1	0.0	0.0
サービス業	51.5	48.1	12.1	14.3	0.4	7.8	4.8	6.1	7.8	0.9	12.1	3.5	4.8
中小企業	54.9	51.9	11.7	17.1	2.1	7.0	4.7	11.1	12.0	3.3	17.1	5.4	6.3
大企業	66.7	60.4	25.0	10.4	6.3	0.0	8.3	10.4	16.7	6.3	18.8	2.1	0.0

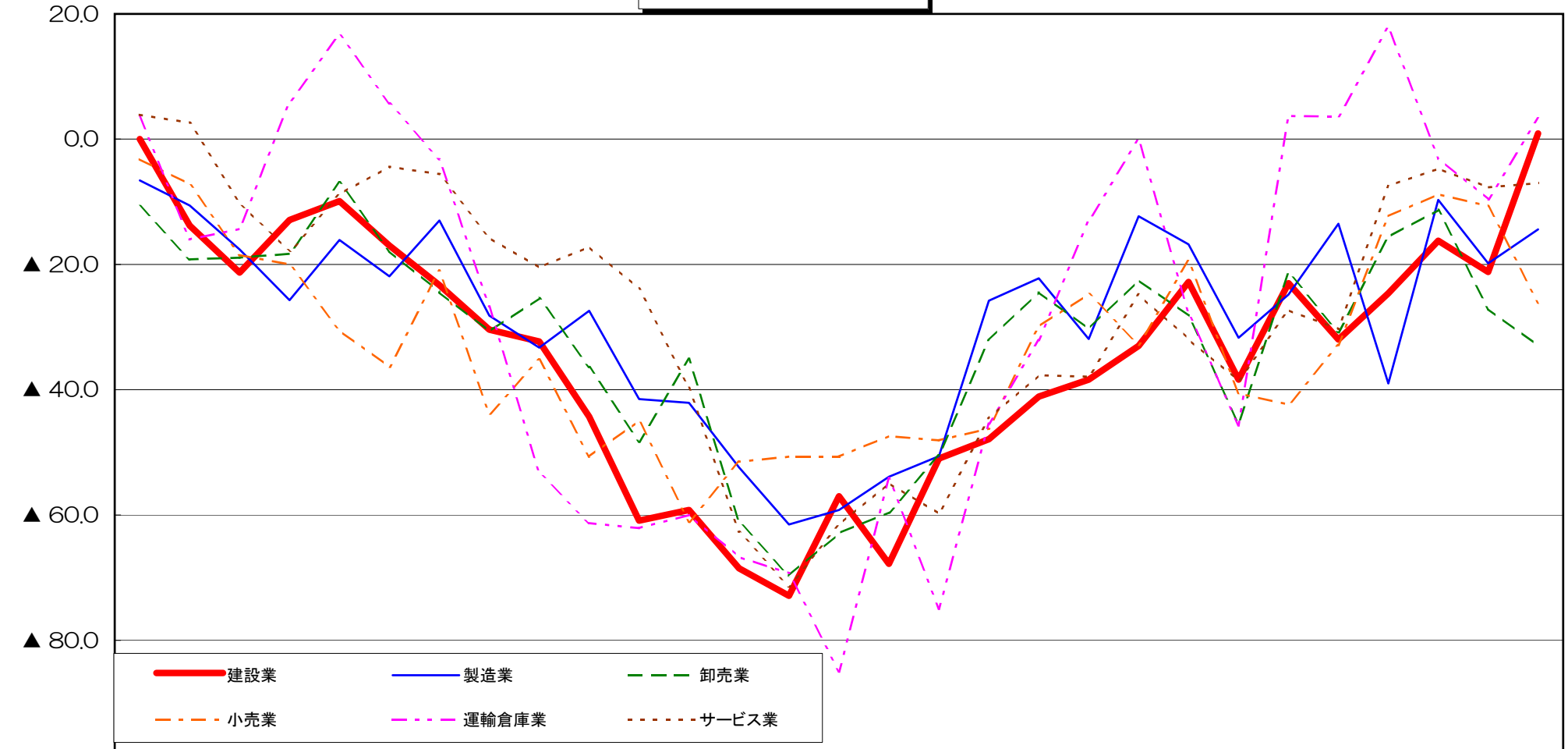
問題点	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	経費の増加	営業利益の低下	不隘店、舗、駐工場用地狭	代化、舗、老朽化、設備過	が家賃地代の値上	化難人、材定着、性の求人悪	費人手過剩、人件	対労務管理、組合	資金借入難	金利負担増加	難情報不足、人材	その他	無回答
全業種	19.6	39.9	1.3	6.8	1.3	21.9	5.6	2.6	5.8	3.5	3.9	1.9	3.2
建設業	13.6	46.4	0.0	1.8	0.9	21.8	3.6	1.8	8.2	5.5	7.3	0.9	0.9
製造業	14.5	36.1	0.0	10.8	1.2	9.6	3.6	1.2	4.8	0.0	0.0	0.0	2.4
卸売業	19.1	40.4	1.1	2.1	0.0	12.8	5.3	1.1	6.4	4.3	1.1	2.1	2.1
小売業	13.7	41.1	4.1	11.0	4.1	21.9	6.8	2.7	2.7	4.1	2.7	0.0	5.5
運輸・倉庫業	19.4	19.4	3.2	6.5	0.0	45.2	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2	6.5	3.2
サービス業	26.4	40.3	1.3	8.2	1.3	26.8	7.8	4.3	6.5	3.5	5.2	3.0	4.3
中小企業	19.3	40.8	1.2	6.8	1.2	22.8	5.9	2.4	6.1	3.7	3.8	1.9	3.5
大企業	22.9	29.2	2.1	6.3	2.1	10.4	2.1	4.2	2.1	2.1	4.2	2.1	0.0

自社業況の景況判断推移（「良くなった」「悪くなった」別、時代背景参考）

自社業況DI値の推移



### 自社業況DI値の推移



	H17. 10~12	H18. 1~3	H18. 4~6	H18. 7~9	H18. 10~12	H19. 1~3	H19. 4~6	H19. 7~9	H19. 10~12	H20. 1~3	H20. 4~6	H20. 7~9	H20. 10~12	H21. 1~3	H21. 4~6	H21. 7~9	H21. 10~12	H22. 1~3	H22. 4~6	H22. 7~9	H22. 10~12	H23. 1~3	H23. 4~6	H23. 7~9	H23. 10~12	H24. 1~3	H24. 4~6	H24. 7~9	H24. 10~12	
建設業	0.0	▲ 13.8	▲ 21.3	▲ 12.9	▲ 9.9	▲ 17.0	▲ 23.3	▲ 30.4	▲ 32.3	▲ 44.3	▲ 60.9	▲ 59.2	▲ 68.5	▲ 72.9	▲ 57.0	▲ 67.8	▲ 51.0	▲ 47.9	▲ 41.1	▲ 38.4	▲ 33.0	▲ 22.8	▲ 38.4	▲ 23.0	▲ 32.0	▲ 24.6	▲ 16.2	▲ 21.2	0.9	
製造業	▲ 6.6	▲ 10.6	▲ 17.6	▲ 25.7	▲ 16.1	▲ 21.9	▲ 13.0	▲ 28.2	▲ 33.3	▲ 27.4	▲ 41.5	▲ 42.1	▲ 52.4	▲ 61.5	▲ 59.2	▲ 53.9	▲ 50.6	▲ 25.8	▲ 22.2	▲ 31.9	▲ 12.3	▲ 16.8	▲ 31.7	▲ 24.8	▲ 13.5	▲ 39.0	▲ 9.7	▲ 19.8	▲ 14.4	
卸売業	▲ 10.7	▲ 19.2	▲ 18.9	▲ 18.3	▲ 6.9	▲ 17.9	▲ 24.4	▲ 30.7	▲ 25.4	▲ 36.4	▲ 48.3	▲ 35.1	▲ 61.1	▲ 69.7	▲ 62.9	▲ 59.6	▲ 50.5	▲ 32.1	▲ 24.4	▲ 30.3	▲ 22.5	▲ 28.2	▲ 45.4	▲ 21.3	▲ 30.8	▲ 15.6	▲ 11.3	▲ 27.1	▲ 33.0	
小売業	▲ 3.2	▲ 7.2	▲ 18.5	▲ 20.0	▲ 30.5	▲ 36.4	▲ 21.0	▲ 43.9	▲ 35.2	▲ 50.7	▲ 44.9	▲ 61.1	▲ 51.5	▲ 50.7	▲ 50.7	▲ 47.4	▲ 48.1	▲ 46.2	▲ 29.9	▲ 24.7	▲ 24.7	▲ 32.8	▲ 19.4	▲ 40.6	▲ 42.4	▲ 32.9	▲ 12.3	▲ 8.8	▲ 10.7	▲ 26.1
運輸倉庫業	3.6	▲ 16.0	▲ 14.3	5.9	16.7	5.7	▲ 3.2	▲ 26.7	▲ 53.3	▲ 61.3	▲ 62.1	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 69.3	▲ 85.0	▲ 54.1	▲ 75.0	▲ 45.4	▲ 32.1	▲ 13.0	0.0	▲ 27.8	▲ 45.7	3.7	3.6	17.9	▲ 3.0	▲ 9.6	3.3	
サービス業	3.9	2.6	▲ 10.1	▲ 18.0	▲ 8.8	▲ 4.4	▲ 5.6	▲ 15.7	▲ 20.5	▲ 17.2	▲ 23.9	▲ 39.7	▲ 62.7	▲ 71.4	▲ 61.6	▲ 54.9	▲ 59.8	▲ 44.6	▲ 37.7	▲ 37.9	▲ 24.8	▲ 31.9	▲ 38.6	▲ 27.3	▲ 30.3	▲ 7.5	▲ 4.7	▲ 7.7	▲ 7.0	